

第2回海業推進地域協議会（講演） 質疑応答

質 疑 内 容	講 師 回 答	備 考
ご講演、町田先生ありがとうございました。 民間活用というのがどのように進んできたのかというのを勉強できた。 そうした中で、今回、海業は飯岡漁港でという話ではありますが、広い意味では海岸活用というのも入ってくるのかなと思っている。 今まで道路、港湾、河川ときて、最後に残った砦が海岸だと思う。 ゴミが多い中で難しいとは思いますが、例えば、海外とか行くと海岸にお店が並んでいるなんて光景を見るが、日本の海岸では、占有が年間通してできない。 海岸の自由利用というのは今後どうなるかをお伺いできればと思う。	ありがとうございます。 海岸は、海岸法の中でも管理者がいっぱいいる。 また、普通の土地ではないので、どうかなというのはありますが、流れからすると緩和していく方向になっていくというのはあると思う。 海外の例で、オランダの海岸の使い方のダイナミックさを見ると、「なんで日本ってできないんだろう」と思いますが、それは規制緩和が進んでいないからだと思う。 流れとしては規制緩和していくというのはおおいにあり得るなと個人的には思っている。	
海業の進め方に関するのですが、今日の講演でもでてきましたが、多様な種別の業者があり、個人的にはデベロッパーさんか商社系なのかなというイメージを持っていた。 私としては地元の企業が、もちろん漁業振興というのは柱ですので、そこを軸としながら、地元の水産関係の加工業者さんも入ってもらって取りまとめ、外にも発信していくとなるとこういった事業体が良いのかというのを伺いできればと思う。	あと事業者について、先ほどの木更津の例ですが、大和リースが結果的に勝ちましたが、もう一つの会社が浜焼きをやっている大きな会社さんがいて、直接漁業者というわけではないですが、もちろん可能性はあると思います。 海に関係する産業の方たちでコンソーシアムをつくってやってみると。別に投資するお金の大きさをヒットするかしないかという話ではないですから。 やはり、小さくたって集まるところは集まるし、イベントを開催できる場所かどうかでも集まる規模は変わる。 管理者側の見方ですけど、使いにくい場所だから使って良いではない。 一丁目一番地の一番良い場所を使えると小さい投資で成立するということ。 土地で例えると、端っこの使いにくい場所ではなくて、一番良い場所を提供して、成立してもらおうと。 そうすると事業者の種類も増えるし、投資の規模が小さくても良いものができるという構図ができると思う。	

※コンソーシアム：共通の目的を持った複数の企業や組織が集まり、資源を持ち寄って協力し合う
共同事業体のこと。

デベロッパー：不動産会社やゼネコン、商社といった土地開発業者のこと。